

令和7年度石狩教育研修センター

ICT実技研修講座

# 端末活用講座 (中級)



日時	令和7年8月7日(木)	13:00~16:00
場所	北広島市立東部小学校	2階プレイルーム
講師	石狩市立花川中学校	山下 宗親
	北広島市立東部中学校	安齋 慎
	恵庭市立和光小学校	望月 恵介

令和6年12月25日の中央教育審議会諮問を受け、次期学習指導要領の改訂に向けた議論が始まりました。少子高齢化やグローバル化、生成 AI 等のデジタル技術の発展による社会の変化に合わせた教育内容の見直しや、現行の学習指導要領の理念である「主体的・対話的で深い学び」をさらに浸透させるための議論が進められています。

さらに令和7年度には、第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日に閣議決定)に基づく施策が引き続き推進され、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が重点的に進められています。こうした中、すべての子どもに学びを保障する上で、ICT は今や欠かせないツールとなっており、一人一人の特性や理解度に応じた、より学びを広げ深めるための使い方が期待されています。

私たち教職員が端末を使う場面は、大きく広がりました。打ち合わせやオンライン会議、Google フォームでのアンケート回答、授業での活用等、端末を使わない日はほとんどありません。その便利さを実感する一方で、細かな操作や機能に戸惑ったり、授業の活用方法に悩んだりする声も多く聞かれます。こうした日々の課題に向き合っていくためには、端末を実際に操作しながら、情報活用スキルを高めていくことが大切です。

本研修では、Google フォームで集約した情報を、スプレッドシート上で効率よく並び替えたり抽出したりする関数を中心に扱います。特に、実務に役立つ「Query 関数」についても学びます。最後には、Google アプリで作成できるポータルサイトの活用方法についても、演習を通じて実践的に体験していただく予定です。

普段あまり使わない操作や機能を扱うため、難しく感じることもあるかもしれませんが、理解が深まると校務の様々な場面で役に立ち、個人の業務負担を減らすことにもつながると考えています。演習を多く考えておりますので、わからないときは気軽にご相談ください。本日の研修が2学期(前期後半)以降の授業や校務の一助になれるよう努めていきます。

石狩市立花川中学校

山下 宗親

# 1) 様々な関数を活用しよう

## I SUM・AVERAGE・RANK 関数

### 活用場面

各種テストの結果を算出する場面。Google フォームやその他の関数と併用することで、自動的に算出させることも可能になります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85	465	2
4	A	2	小堀 春美	53	31	52	33	42	211	27
5	A	3	佐々木 陽介	85	95	87	88	77	432	5
6	A	4	大石 あずさ	58	38	36	24	23	179	30
7	A	5	古川 理恵子	52	68	82	74	73	349	10
8	A	6	石川 優子	50	30	28	56	95	259	22
9	A	7	柳原 靖男	46	50	64	47	22	229	24
10	A	8	山内 大輔	58	30	45	15	42	190	29

各関数の特徴

SUM 関数

選択した範囲の数字を合計できます。

AVERAGE 関数

複数の値の平均値を求められます。

RANK 関数

範囲内の順位を求められます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
27	A	25	古川 けい	78	39	82	56	58	313	17
28	A	26	上松 みのる	51	18	76	67	48	260	20
29	A	27	中村 ひかり	74	70	70	50	58	322	15
30	A	28	井上 祐希子	89	99	85	89	77	439	3
31	A	29	岸 俊祐	81	83	92	88	87	431	6
32	A	30	荒井 真樹子	36	64	59	43	57	259	22
33	A	31	翁長 まどか	59	85	55	78	65	342	11
34	A	32	松浦 優子	59	81	69	69	64	342	11
35	A	33	新宅 直樹	76	70	79	85	85	395	8
36	A組	平均点		63.7	57.3	62.5	59.6	57.6	300.7	
37										
38	各クラス	A組	B組	C組	D組					
39	平均点	300.7	307.3	306.5	281.2					
40										
41										
42		3	1	2	4					

### 活用例

漢字テストの集計を Google フォームで実施し、集約したデータから合計点と平均点を算出させています。成績一覧表等に入力する際に、平均点をコピー＆ペーストすることにより、効率化を図っています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A		1 小坂 大介	10 / 10			クラス	出席番号	名前	得点合計	回数	平均点
2	A		1 小坂 大介	10 / 10			A	1	小坂 大介	40	4	10.0
3	A		1 小坂 大介	10 / 10			A	2	小堀 春美	37	6	6.2
4	A		1 小坂 大介	10 / 10			A	3	佐々木 陽介	59	6	9.8
5	A		2 小堀 春美	8 / 10			A	4	大石 あずさ	25	6	4.2
6	A		2 小堀 春美	5 / 10			A	5	古川 理恵子	58	6	9.7
7	A		2 小堀 春美	7 / 10			A	6	石川 優子	0	0	#DIV/0!
8	A		2 小堀 春美	6 / 10			A	7	柳原 靖男	0	0	#DIV/0!
9	A		2 小堀 春美	3 / 10			A	8	山内 大輔	40	6	6.7
10	A		2 小堀 春美	8 / 10			A	9	新井 久	48	5	9.6
11	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	10	今野 拓未	45	5	9.0
12	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	11	竹内 剛志	20	6	3.3
13	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	12	黒澤 太郎	51	6	8.5
14	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	13	池上 正樹	27	4	6.8
15	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	14	萩野 千尋	53	6	8.8
16	A		3 佐々木 陽介	9 / 10			A	15	村上 剛史	37	6	6.2
17	A		4 大石 あずさ	8 / 10			A	16	田中 裕子	20	6	3.3
18	A		4 大石 あずさ	1 / 10			A	17	山本 学	60	6	10.0
19	A		4 大石 あずさ	4 / 10			A	18	高田 友昭	57	6	9.5
20	A		4 大石 あずさ	3 / 10			A	19	福田 桂太	32	5	6.4

合計点と回数を数える関数を使用しているため、自動的に算出してくれています。この例では、応用となるSUMIF関数、COUNTIF関数を用いています。

平均点は AVERAGE 関数を用いますが、この例では「得点合計÷回数」の数式「=J2/K2」で算出しています。

- (1) 基本構文 `=SUM(最初のセル:最後のセル)【範囲選択】`
- `=SUM(該当セル,該当セル,...)【個別選択】`
- `=AVERAGE(最初のセル:最後のセル)【範囲選択】`
- `=AVERAGE(該当セル,該当セル,...)【個別選択】`
- `=RANK(数値,順位付けの範囲,順位付けの仕方)`

・合計点数を出したい時は・・・「SUM 関数」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85		

いずれかの方法で関数を入力する

`fx =SUM(D3:H3)`

`fx =SUM(D3,E3,F3,G3,H3)`

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85	465	

・平均点数を出したい時は・・・「AVERAGE 関数」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
35	A	33	新宅 直樹	76	70	79	85	85	395
36	A組	平均点							

関数を入力する

`fx =AVERAGE(D3:D35)`

平均点	63.7
-----	------

・クラス内で順位を出したい時は・・・「RANK 関数」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85		

関数を入力する

`fx =RANK(I3,I3:I35,0)`

合計点	順位
465	2

順位を付ける基準となる数値のセルを選択します。

順位を付ける基準となる、数値セルの範囲を選択します。演習シートでは33人在籍しているクラスのため、33人分のセルを選択しています。

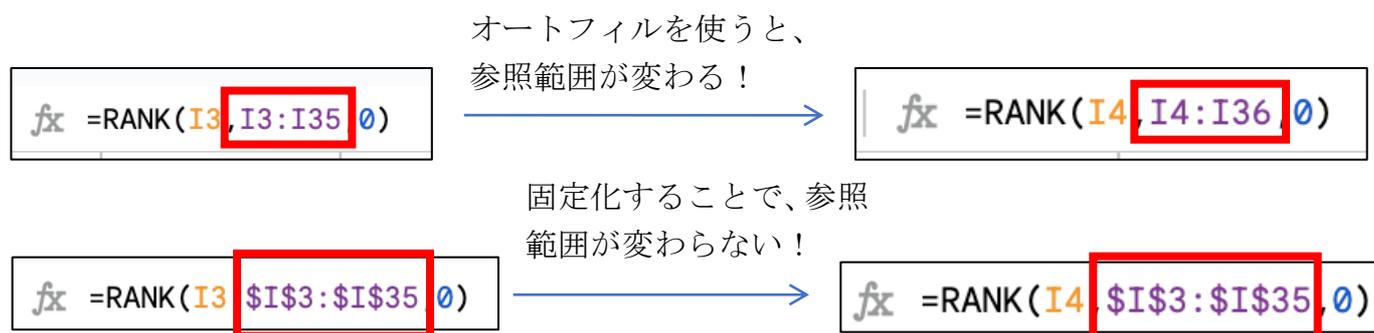
順位付けの仕方を決めます。「0」は数値の高い順に、「1」は数値の低い順に、順位付けをしています。演習シートの場合、クラス内で2番目に点数が高いことを表しています。

## 注意事項 & 豆知識

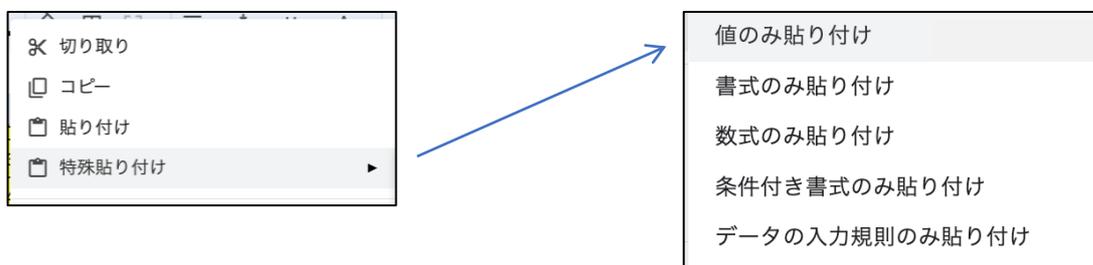
- (1) 関数の入力には、基本的に半角入力になります。全角入力だとエラーが生じます。
- (2) 関数をコピーする時は、オートフィル機能が便利です。オートフィル機能は、セルに打ち込まれている情報を認識して、他のセルにも自動でデータを入力してくれる機能です。情報が打ち込まれているセルを選択すると、右下に青丸が表示されます。青丸にカーソルを合わせると「+」マークが現れます。それを選択した状態のまま、ドラッグすると自動でデータが入力されます。(合計点と平均点はこの機能で反映させることができます)



- (3) (2) のオートフィル機能は便利ですが、関数で参照する範囲を選択している場合、結果が反映されないことがあります。(今回の場合 RANK 関数でエラーが生じます)そのため、オートフィル、もしくは関数をコピーした場合でも範囲が変わらない、つまり範囲を固定する必要があります。(以下、固定化とする)固定化するためには、セルの行に対して「\$」で挟むと、関数をコピー&ペースト(オートフィル含む)しても範囲は変わりません。(例 G2→\$G\$2)なお、WindowsPC の場合、セルを指定した状態で「F4 キー」を押すだけで、「\$」が付与されます。



- (4) 関数で取得した値をコピー&ペーストで入力する場合、通常やり方では関数がコピーされてしまいエラーが生じてしまいます。値をそのまま入力したい場合、ペーストする際に「特殊貼り付け」の「値のみ貼り付け」を選択しましょう。



**演習①** 演習シート(1)で、3つの関数を用いて合計点数、平均点数、順位づけをしよう！

## 2 VLOOKUP 関数

### 特 徴

指定した範囲の中から特定のデータに対する値を取り出すことができます。検索値は、指定した範囲内の左端にする必要があります。

A		B	C	D	E	F	G	H
1	出席番号	名前	振り返りの記述を表示させましょう！	文字数	クラス	A	名前	振り返り
2	1	小坂 大介	走れメロスと人質を比べて、人質は詩で走れメロスの主軸となる部分だった。走れメロスは、様々な描写が増えていたりして、より想像しやすいと思った。	70			池上 正樹	が具体的に細かい
3	2	小堀 春美	今回は走れメロスと人質を比べてみて走れメロスのほうが具体的に個人的には走れメロスのほうがわかりやすいと思いました。	57	単元名	走れメロス	小坂 大介	だった。走れメロ
4	3	佐々木 陽介	今日は、走れメロスの元となった人質を読みました。2つの文章を、情景描写や周りの人の書かれ方など、観点を絞って比較しながら、学習することが大切だと感じました。	78	時数	1	松浦 優子	より走れメロスの
5	4	大石 あずさ	人質は走れメロスよりも簡単にまとまって読みやすくなって思った。	31			小堀 春美	が具体的に個人
6	5	古川 理恵子	走れメロスの方は細かく内容が書いていて、人質は端的に書かれていて、最後に王が優しかったから走れメロスより人質の方がいい話だと思った。	66			大石 あずさ	単にまとまって
7	6	石川 優子		0			今野 拓未	ずのような文に
8	7	榊原 靖男		0			村上 剛史	質をもとにしてる
9	8	山内 大輔	走れメロスの参考となった人質を読んで全体の流れはほとんど同じだったけど最後のところの王が少し素直になっていることがわかりました他にもメロスが友達を救うために走っているときの過酷さが少ないと思いました	99			山本 学	思った。なぜ人
10	9	新井 久	走れメロスと人質を比べると人質はおおまかな内容で走れメロスは具体的に書かれていた。セリフもニュアンスは似ているけど言葉が違ったりなどがあった。	71			新宅 直樹	ました。一番気
11	10	今野 拓未	走れメロスは言葉が多く補足されているが人質は言葉足らずのような文になっていることをはるまさんの発表や読んでみてわかった	59			上松 みのる	細かく書かれてい
12	11	竹内 剛志	走れメロスと人質を比べてみて似てるなと思った。次の授業では積極的に意見を出せるようにする。	45			佐々木 陽介	や周りの人の書か
13	12	黒澤 太郎	走れメロスは小学校以来関わる事がなかったから少しむずかしく感じた。次回のときはグループの人と探求していくから、今より意味が理解できるようにしたい。	74			新井 久	的に書かれてい
14	13	池上 正樹	人質と比較して、走れメロスのほうが具体的に細かく書かれていることに気がついた。	39			翁長 まどか	。人質と走れメ
15	14	萩野 千尋		0			渡辺 学	物の心情がわか
16	15	村上 剛史	走れメロスが人質をもとにしてることがわかった	22			古川 けい	ロスの方がより
17	16	田中 裕子	人質を読んでみて、走れメロスのほうが詳しく深く書かれていることに気がついた。今回は自分が選んだ場面について深めていきたい。	61			荒井 真樹子	体的に書かれた

範囲から取り出したい値（範囲の中の左端から何番目かを指定する。この場合は「2」が列番号となる）

データの入力規則機能（詳細は P18 参照）によりリスト化して、「クラス」「単元名」「時数」を変えることで、参考になりたい振り返り（特定の値）を閲覧することができます。

### 活用例

振り返りを Google フォームで実施し、「クラス」「単元名」「時数」を選択することで、クラス全員の振り返りを表示できる仕組みです。教科担任として個人の進捗状況、理解度合いを把握することで指導及び評価に生かすことができます。また、子ども自身が「クラス」「単元名」「時数」を選択することができるよう共有設定をしているため、他の子どもの振り返りを参考にして自らの学習に生かすことができます。  
【個別最適な学び、協働的な学び】

(1) 基本構文 `=VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索の型)`

3【列番号】は、取り出したい値が範囲全体のうち、左端から何番目の列であるかを示しています。演習シートでは記述を取り出すので、2列目になります。

G	H
名前	振り返り
池上 正樹	が具体的に細か
小坂 大介	だった。走れメロ
松浦 優子	より走れメロスの
小堀 春美	が具体的で個人

VLOOKUP 関数には 4 つの引数があります。

- 1【検索値】・・・どのデータを基にするか
- 2【範囲】・・・どこから検索するか
- 3【列番号】・・・選択した範囲のどの列にある値を取り出すか
- 4【検索の型】・・・検索する値が見つからない場合、どのように処理するかを決める。TRUE または FALSE があります。

※基本的に完全に一致する値を探すことになるため、FALSE が基本となります。

	A	B	C
1	出席番号	名前	振り返りの記述を表示させましょう！
2	1	小坂 大介	走れメロスと人質を比べて、人質は詩で走れメロスの主軸となる部分だった。走れメロスは、様々な描写が増えていたりして、より想像しやすいと思った。
3	2	小堀 春美	今回は走れメロスと人質を比べてみて走れメロスのほうが具体的で個人的には走れメロスのほうがわかりやすいと思いました。
4	3	佐々木 陽介	今日は、走れメロスの元となった人質を読みました。2つの文章を、情景描写や周りの人の書かれ方など、観点を絞って比較しながら、学習することが大切だと感じました。

名前を検索値として、該当生徒の振り返りを取り出すことができます。この際、基となるデータ一覧は左端に名前がなければいけないのが、VLOOKUP 関数の特徴になります。

**実際の構文**

`fx =VLOOKUP(B2,$G$2:$H$34,2,FALSE)`

**注意事項 & 豆知識**

(1) 演習①のように、範囲を固定化することで関数をコピーしても参照するデータがずれなくなります。必ず固定化するようにしましょう。

**演習②**

**演習シート(2)で、VLOOKUP 関数を用いて該当児童生徒の振り返りを表示させよう！**

(2) こんな時どうする? ~データが入力されていないため、エラー表示が出てしまう~

6	石川 優子	#N/A
7	榊原 靖男	#N/A

エラーである「#N/A」が表示されてしまい、見映えが悪くなる…。しかし、以下の関数を入力することで、取り出したいデータがない場合、エラーを表示させなくすることができます。



**fx** =IFERROR(VLOOKUP(B2,\$G\$2:\$H\$34,2,FALSE),"")

VLOOKUP 関数を囲む形で、**IFERROR 関数を使うことでエラー表示をなくすることができます**。空白表示になっているのは、関数の最後にデータがない場合「"”とすることで、空白で返すように指示しているためです。

(3) エラーメッセージには、空白だけではなくメッセージを返すこともできます。表示させたいメッセージを「"” (ダブルクォーテーション) の間に入れます。

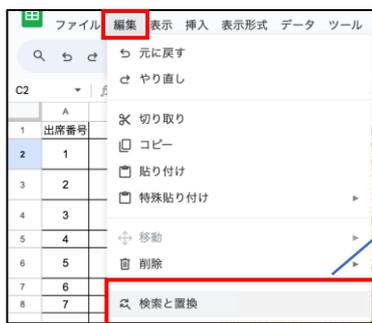
**fx** =IFERROR(VLOOKUP(B2,\$G\$2:\$H\$34,2,FALSE),"")



**fx** =IFERROR(VLOOKUP(B2,\$G\$2:\$H\$34,2,FALSE),"記載なし")

(4) (3)のように、一度設定した関数を修正する場合は「置換」機能を使うと一括編集できます。この機能を使うことで、各セルの関数を修正する必要がなくなり、業務がスムーズになります。

関数に修正を加える場合は、「数式内も検索」にチェックをつけます。



検索範囲は条件によって選択が可能です。囲みをクリックすると、データ範囲の選択をドラッグで選択できます。

「すべて置換」をクリックすると該当データが一括で編集されます。

### 3 XLOOKUP 関数

#### 特徴

Google フォーム等で得られる多くのデータから、特定のデータに対する値を取り出す場面において、「選択範囲が広い」「検索値が左端とは限らない」等、より自由に特定の値を取り出すことができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	
1	メニュー	学習内容	1	1	2	2	3	3	4	4	1	1	2	2	1	1	2	2	4桁出席番号	名前	学年	クラス	2桁出席番号	
2	s2213	まちづくり	北広島	2	自分	3	みんな	1	自我を	4	課題は								3207	中村	3年	B	7	
3	s2200	まちづくり	北海道	5	今の	5	みんな	4	整理	5	みんな	国語	構成と	社会	社会と				3102	和田	3年	A	2	
4	s2207	まちづくり	北海道	5	自分	5	Googl	4	その	5	みんな	社会	その						3414	柿本	3年	D	14	
5	s2212	まちづくり	青森県	4	北広島	5	ネット	4	いろ	3	発表	数学	今後	自					3431	和田	3年	D	31	
6	s2206	まちづくり	環境	5	交流	5	正確	5	複数	5	スライ	理科	パイフ	社会	SDGs				3118	佐々	3年	A	18	
7	s2204	まちづくり	北広島	5	現状	4	一部	5	一つ	4	スライ	社会	sdgs						3408	秋田	3年	D	8	
8	s2203	まちづくり	北広島	3	課題	4	自分	5	他の	3	相手	数学	ほとん	社会	他の	外国	文章	相手	3406	井上	3年	D	6	
9	s2213	まちづくり	北広島	2	自分	1	実際	3	あまり	2	自分	国語	自分	社会	歴史	と	家庭	こぎ	比較	3133	高田	3年	A	33
10	s2211	まちづくり	こぎ	5	現状	5	ネット	5	課題	5	相手	社会	伝統						3129	萩野	3年	A	29	
11	s2203	まちづくり	他者	5	個人	5	ネット	5	個人	5	一つ	社会	自分	理科	自分				3113	山本	3年	A	13	
12	s2209	まちづくり	自分の	5	職員	5	係の	5	調べ	5	グラ	社会	過疎						3419	小川	3年	D	19	
13	s2202	まちづくり	街に	4	でき	5	まち	5	他者	5	あ	理科	多様						3110	龍美	3年	A	10	
14	s2208	まちづくり	弘前	5	北広島	5	パソ	5	経済	5	私達	国語	意見	社会	その				3416	岡田	3年	D	16	
15	s2202	まちづくり	比較	5	現状	5	ネット	5	工夫	5	周り	社会	心地	技術	家	な			3111	山口	3年	A	11	
16	s2208	まちづくり	青森	5	北広島	5	担当	5	自分	5	その	国語	スライ	数学	予算				3123	山内	3年	A	23	
17	s2205	まちづくり	青森	4	自主	4	基本	3	あまり	4	課題	社会	青森						3410	山口	3年	D	10	
18	s2202	まちづくり	PR	5	今	5	班	5	子	5	東部	社会	研修	技術	研修				3108	柳川	3年	A	8	
19	s2213	まちづくり	青森	4	相手	4	相手	4	社会	歴史	技術	昔							3115	横田	3年	A	15	
20	s2200	まちづくり	青森	5	今	5	イン	5	も	5	相手	社会	歴史	美術	綺麗				3104	菅原	3年	A	4	
21	s2207	まちづくり	こぎ	4	実際	5	実際	4	人の	5	実際	社会	中山	美術	こぎ	国語	情報	国語	3119	大石	3年	A	19	
22	s2209	まちづくり	どの	5	現状	5	自主	4	集	3	スピー	社会	地理	国語	スライ				3125	今野	3年	A	25	
23	s2205	まちづくり	他の	5	現状	5	クロ	4	多面	5	見本	数学	数値	外国	聞いて	社会	根拠	根拠	3117	小堀	3年	A	17	

取り出したい値の範囲

検索値

取り出したい値の範囲から検索値と一致するデータを抽出

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	
1																									3103	
2	令和	7	年度													3年	A	組	3	番					番号	
3																										梅澤 勝
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										

```
=XLOOKUP($Y$1, '基本情報④'!S:S, '基本情報④'!C:C)
```

#### 活用例

総合的な学習の時間の振り返りの形式を、探究学習と教科横断的な学習に焦点を当て、全学年で統一することもできます。Google フォーム、スプレッドシートを一元化することで、業務の煩雑さも軽減されています。また、国語の振り返り同様、子どもが他者の振り返りを参照できるため、学びを広げたり深めたりする有効的な手段になります。

(1) 基本構文  $=XLOOKUP(\text{検索値}, \text{範囲}, \text{戻り範囲}, \text{見つからない場合})$

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	
1	メー	学習	1	1	2	2	3	3	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	2	4	
2	s2213	まち	北広	2	自分	3	みんな	1	自我	4	課題								将来	3207	
3	s2206	まち	北海道	5	今	のち	5	みんな	4	整理、	5	みんな	社会	構成と	社会と				スラ	3102	
4	s2207	まち	北海道	5	自分	5	Googl	4	その	5	みんな	社会	その						弘前	3414	
5	s2212	まち	青森	4	北広	5	ネット	4	いろ	3	発表	数学	今後						自他	3431	
6	s2206	まち	環境	5	交流	5	正確	5	複数	5	スラ	理	パイ	フ	社会	SDGs			使っ	3118	
7	s2204	まち	北広	5	現状	4	一部	5	一つ	4	スラ	社会	sdgs						今後	3408	
8	s2203	まち	北広	3	課題	4	自分	5	他の	3	相手	数学	ほと	ん	社会	他の	英語	文章	相手	3406	
9	s2213	まち	北広	2	自分	1	実際の	3	あま	2	自分の	国語	自分	の	社会	歴史	と	家庭	こ	ぎん	3133
10	s2211	まち	こ	5	現状	5	ネット	5	課題	5	相手	の	社会	伝	統				今後	3129	
11	s2203	まち	他者	5	個人	5	ネット	5	個人	5	一つ	社会	自分	の	理	自分			他者	3113	
12	s2205	まち	自分の	5	班員	5	係	の	5	調べ	5	グラ	社会	過	疎				今後	3419	
13	s2202	まち	街に	4	でき	5	まち	5	他の	5	あ	理	多	様					今後	3110	
14	s2206	まち	弘前	5	北広	5	パソ	5	経済	5	私	達	の	国語	意	見	を	社会	その	3416	
15	s2202	まち	比較	5	現状	5	ネット	5	工夫	5	周	り	の	社会	心	地	の	技術	家	な	3111
16	s2208	まち	青森	5	北広	5	担当	5	自分	5	その	国語	スラ	イ	数学	予	算		これ	3123	
17	s2205	まち	青森	4	自主	4	基本	4	3	あま	4	課題	の	社会	青	森			相手	3410	
18	s2202	まち	PRの	5	今	自	5	班	の	5	そ	に	身	5	東	部	の	社会	研	修	3108
19	s2213	まち	青森	5	こ	け	し	5	失	礼	4	で	き	4	相	手	の	社会	歴	史	3115
20	s2206	まち	青森	5	今	の	5	イン	5	も	と	5	相	手	の	社会	歴	史	に	美	3104
21	s2207	まち	こ	4	実	際	5	実	際	4	人	の	な	5	実	際	の	社会	中	山	3119
22	s2206	まち	ま	4	現	状	5	自	主	4	集	め	た	3	ス	ピ	ー	社会	地	理	3125
23	s2205	まち	他	5	現	状	5	ク	ロ	4	多	面	5	見	本	の	数	学	数	値	3117

XLOOKUP 関数には4つの引数があります。

- 1【検索値】・・・どのデータを基にするか
- 2【範囲】・・・どこから検索するか
- 3【戻り範囲】・・・どの範囲の値を取り出すか
- 4【見つからない場合】  
・・・検索値が見つからない場合、何を表示するか

※4つの引数を用いるが、基本的に検索した際にデータが見つからないことや完全一致しないことはないため、1~3までの引数で作動させることができる。

この場合、検索値を名前、返す範囲を該当記述としています。左端になくても検索できるところが便利です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1		令和	7	年度												3年	A	組	3	番				番号	3103
2																名									
3																前									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									

**実際の構文【3つの引数】**

$=XLOOKUP(\$Y\$1, '基本情報④'!S:S, '基本情報④'!C:C)$



「まちづくり (振り返り)」はスプレッドシート内の別シートのS列、C列を参照する意味です。

**【4つの引数】**

$fx =XLOOKUP(\$Y\$1, '基本情報④'!S:S, '基本情報④'!C:C, "記載なし")$

1	今回の学習全体を通して、どのようなことを学んだかまとめてみよう
12	
13	記載なし
14	
15	

欠席した児童生徒がいた場合等、検索値と照合されるデータがない場合、メッセージを表示させることがXLOOKUP関数1つのみで可能になります。

**注意事項 & 豆知識**

- (1) VLOOKUP関数との大きな違いは、検索値が左端である必要がないということです。上記画像のように、検索値の左のデータを取り出すことができ、汎用性が高いといえます。
- (2) 4つめの引数が「見つからない場合」であるため、IFERROR関数を入れる必要がありません。この点からも汎用性が高いといえます。

**演習③ 演習シート(3)で、XLOOKUP関数を用いて演習②のデータを表示しよう!**

$fx =XLOOKUP(B2, G:G, H:H, "記載なし")$

(3) こんな時どうする？ ～複数の条件を検索して、データを取り出したい～

取り出したい値の範囲

取り出したい値の範囲

		B	C	D	E	F	G
1		学級議長	学級副議長	学級書記	代議員	生活委員	学習委員
2	A組	櫻庭	中本	山元	石崎	松井	福島
3	B組	菅野	中島	工藤	香取	津村	中澤
4	C組	会田	今野	安齋	千葉	和田	堀
5	D組	武田	速水	福田	藤波	富樫	牧野
6							
7							
8	学級	役職	名前				
9	C組	代議員	千葉				

検索値

検索値

取り出したい値の範囲から検索値と一致するデータを抽出（学級と役職のいずれにも合致するデータ）

2つの条件（学級と役職）を満たす児童生徒を抽出したい時にも、XLOOKUP 関数を二重にすることで抽出できます。

**実際の構文**

=XLOOKUP(A9,A2:A5,(XLOOKUP(B9,B1:G1,B2:G5)))

**抽出結果**

学級	役職	名前
C組	代議員	千葉

**注意事項 & 豆知識**

(1) 検索値を参照させるときは、上部にある「データ」コマンドより「データ入力規則」でリストから選択する設定にすることで、検索値が一致しないことを防ぐことができます。【詳細は P18 参照】  
 ※全角、半角の違い、スペースの有無でデータが反映されることがよくあります。

**参考** 参考シート(1)で、XLOOKUP 関数を用いた複数条件を確認しよう！

## 4 QUERY 関数

### 特徴

選択した範囲の情報から、別のシートに必要な部分だけを抽出することができます。1つのセルに関数を入力すれば、シート全体に反映されるため、複数回入力する手間が省けます。また、並べ替えができたり、空白時にはデータを抽出しなかったりする等、条件をつけることで、必要なデータを絞り込んで取り出すことができます。

自らクラスと出席番号を選択できます

条件① (どの単元か)

条件③ (誰の振り返りか)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP
1	国語科 学びの足跡ファイル													2	年	B	組	2	番	加藤 道																					
4	単元名		表現を見つめる										教材名			走れメロス																									
5	単元のゴール		読むこと		太宰治・走れメロスの魅力とは何か																																				
8	本単元で身につける力		<ul style="list-style-type: none"> <li>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知識・技能)</li> <li>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。(思考・判断・表現)</li> <li>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思考・判断・表現)</li> <li>粘り強く目的に応じて登場人物の言動の意味などについて考え内容を解釈し、各学習課題に沿って太宰治・走れメロスの魅力について明らかにしようとしている。(主体性)</li> </ul>																																						
14	本単元で身につけたこと		自分は走れメロスならではの表現とその効果について考えた。はじめは走れメロスの独特な表現は見つけることができたが、その効果についてはわからなかった。人質と比較してみると、表現が表す効果がわかり、走れメロスならではの魅力を見つけることができた。また、中間交流会や発表会では、別の探求課題のグループでも共通点があったのでより考えが深まった。これから他の作品を読むときにも表現やその効果に着目して読んでいきたい。																																						
17	時数	学習内容	観点	振り返り																																					
18	1	「人質」を読み、走れメロスとの違いを把握する。	知・技 思・判・表 主体性	自分はシラスの町について比べてみただけで、「走れメロス」のほうには町の場面があったが、「人質」のほうには町の場面がなかったためあまり比べることができなかった。しかし、なぜ「走れメロス」のほうにだけ町のシーンがあるのか疑問に思った。																																					
21	2	「人質」を読み、走れメロスとの違いを明らかにして、探求課題をすすめる。	知・技 思・判・表 主体性	「人質」と「走れメロス」を比較してみると、最初のシラスの町のシーンやメロスの心情などで違いが見られ、そこから新たな疑問が見つかったので、単元課題につながるように疑問点を読み解いていきたい。																																					
25			知・技 思・判・表 主体性	自分は走れメロスの表現の方法についての課題を立てた。課題を立てたことで、次回以降の見通しを持つことができた。次回は、走れメロスと人質を表現の観点から比較し、共通点や相違点を見つけていきたい。																																					
27			知・技 思・判・表 主体性	2つの文章の共通点や違いを見つけることができた。次回はそれぞれの表現方法が与える効果について考えていきたい																																					
30	5	探求タイム③	知・技 思・判・表 主体性	走れメロスならではの表現技法とその効果をまとめてみて、強調している部分や迫力が出ている部分があった。次は他の班やクラスの考えを聞いて深めていきたい。																																					
33	6	探求タイム④	知・技 思・判・表 主体性	人質と走れメロスの表現をそれぞれ整理し、比較してみると、走れメロスならではの表現が多くあり、それが走れメロスの魅力につながっていることがわかった。																																					

条件② (単元何時間目の学習か)

```
fx =IFERROR(query('集約'!A:F,"select F where B='&{$AB$4}&' and C='&A18' and E='&{$AE$1}&'"),"")
```

別シートの検索範囲

検索範囲内から取り出すデータの列番号 (F列に記述があることを示しています)

### 活用例

QUERY 関数を用いて、教科の振り返りである「学びの足跡」を、各単元の目標、学習内容等を記載しているシート(シラバス)と紐付けています。「クラス」と「出席番号」を選ぶだけで、個人の振り返りが自動的に表示されます。単元における自分の変容だけでなく、他者の振り返りも参照できるため、学びを広げることにもつながります。また、これまで学習した単元も蓄積されるため、同じ学習領域(物語文、意見文の作成等)を生かしながら、自らの学習課題を設定する際にも役立ちます。【個別最適な学び、協働的な学び】

(1) 基本構文 **=QUERY(範囲,select 列,where 条件,見出し)**

範囲	QUERY 関数で検索するセル範囲。指定の仕方は、VLOOKUP 関数、XLOOKUP 関数と同じです。
列	QUERY 関数で出力する列。複数指定する場合はコンマ(,)区切りです。何も指定しないもしくは「select *」とすると、全ての列が表示されます。
条件	範囲の中から欲しい条件を指定します。文字列の指定であれば「列=「文字列」」、数字の指定であれば「列=100」「列>100」という書き方をします。
見出し	データの上部にある項目として用いる行の数です。省略した場合や-1 と指定した場合は、データの内容に基づいて推測されます。

※ QUERY 関数では、「シングルクォーテーション(‘)’」と「ダブルクォーテーション(“)”」を使い分けることがあります。シングルクォーテーションを使用する場合は文字として認識、ダブルクォーテーションは関数の区切りとして用いられることが多いです。(必ずしもその限りではありません)なお、数値の場合は区切り必要はありません。

	A	B	C	D	E	F
1	学年	組	氏名	部活動	住所	電話番号
2	2	D	乗松瑠華	陸上競技	北広島市福住1丁目	033-000-0000
3	2	D	高橋はな	サッカー	北広島市福住2丁目	033-000-0001
4	3	C	岩淵真奈	野球	北広島市福住1丁目	033-000-0002
5	2	C	熊谷紗希	卓球	北広島市福住2丁目	033-000-0003
6	1	D	三苫 薫	サッカー	北広島市福住1丁目	033-000-0004
7	2	A	久保 建英	野球	北広島市福住2丁目	033-000-0005
8	1	D	南野 拓実	サッカー	北広島市福住1丁目	033-000-0006
9	2	A	遠藤 航	バスケットボール	北広島市福住2丁目	033-000-0007
10	3	A	長谷川唯	ソフトテニス	北広島市福住1丁目	033-000-0008
11	2	A	田中 碧	バドミントン	北広島市福住2丁目	033-000-0009
12	1	B	酒井 宏樹	バドミントン	北広島市福住1丁目	033-000-0010
13	2	C	南萌華	美術	北広島市福住2丁目	033-000-0011
14	1	C	吉田 麻也	バスケットボール	北広島市福住1丁目	033-000-0012
15	1	D	守田 英正	バスケットボール	北広島市福住2丁目	033-000-0013
16	1	D	伊東 純也	ソフトテニス	北広島市福住1丁目	033-000-0014
17	1	C	板倉 滉	サッカー	北広島市福住2丁目	033-000-0015
18	3	C	植木理子	野球	北広島市福住1丁目	033-000-0016
19	3	A	猶本光	卓球	北広島市福住2丁目	033-000-0017
20	2	C	大場朱羽	サッカー	北広島市福住1丁目	033-000-0018
21	1	A	シュミット・ダニエル	バレーボール	北広島市福住2丁目	033-000-0019

多くの情報から該当するデータだけ抽出することができる。今回は「野球部」に所属している子どものみを抽出している。



	A	B	C	D	E	F
1	野球部			部員名簿		
2						
3	学年	組	氏名	部活動	住所	電話番号
4	3	C	岩淵真奈	野球	北広島市福住1丁目	033-000-0002
5	2	A	久保 建英	野球	北広島市福住2丁目	033-000-0005
6	3	C	植木理子	野球	北広島市福住1丁目	033-000-0016
7	1	C	中山 雄太	野球	北広島市福住2丁目	033-000-0039
8	3	B	藤野あおば	野球	北広島市福住1丁目	033-000-0042
9	1	C	富安 健洋	野球	北広島市福住2丁目	033-000-0047

QUERY 関数は A3 セルにのみ入力されています。今までの関数のように全てのセルに入力する必要はありません。

## 実際の構文

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select * where D='野球'",1)
```

別シートを参照する場合、シート名はシングルクォーテーション ( ' ) で囲みます。シート名の後ろは、エクスクラメーションマーク ( ! ) を置きます。

select 句は、範囲の中から欲しい列のデータを選ぶことができます。今回は「\*」をつけており、全ての列を選択したい場合に用います。また、select 句の最初はダブルクォーテーションをつけてます。

where 句は、範囲の中で満たしている条件を入力します。今回はD列が「野球」と表示されているデータだけを取り出したいので、シングルクォーテーションで「野球」を囲みます。最後は、ダブルクォーテーションをつけてます。

基本情報③の1列目には「学年」「組」等の項目があります。そのため、1列目を見出しで使用します。

## 注意事項 & 豆知識

- (1) QUERY 関数は文字による全角・半角の違いだけではなく、スペースが空いていない、またはスペースの全角・半角の違いだけでも作動しないことがあります。基本的に、「半角でスペースを空ける」ことが大事になります。 ※半角スペースは ● で表示
- (2) select 句は、データを選ぶことができるため、①データを並べ替えて選択する、②必要な列だけ抽出することができます。

### ①データを並べ替えて選択する方法

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,D,C,F,E where D='野球'",1)
```

	A	B	C	D	E	F
1	野球			部	部員名簿	
2						
3	学年	組	部活動	氏名	電話番号	住所
4	3	C	野球	岩淵真奈	033-000-0002	北広島市福住1丁目
5	2	A	野球	久保建英	033-000-0005	北広島市福住2丁目

### ②必要な列だけ抽出する方法

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球'",1)
```

	A	B	C	D	E	F
1	野球			部	部員名簿	
2						
3	学年	組	氏名	電話番号		
4	3	C	岩淵真奈	033-000-0002		
5	2	A	久保建英	033-000-0005		

- (3) 関数は一つのセルに入力するだけになります。オートフィル等をしてコピーする必要はありません。また、表示されるセルに数値等を入力するとエラー表示が出ますので注意してください。

**演習④** 演習シート(4)で、各部活の部活動名簿を作成しましょう！

(2) こんな時どうする？ ～学年、クラスごとに並べ替えて、データを整えたい～

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	3	C	岩淵真奈	033-000-0002
5	2	A	久保 建英	033-000-0005
6	3	C	植木理子	033-000-0016
7	1	C	中山 雄太	033-000-0039
8	3	B	藤野あおば	033-000-0042
9	1	C	富安 健洋	033-000-0047

データを抽出する際に何も設定をしないと、登録されている順番で抽出されてしまいます。そのため、学年の順番だけでなく、同じ3年生でもクラスが順番通りに並ばないこともあります。



where 句を工夫して、昇順、降順に並び替えることができる！  
 昇順の基本構文 「order by 列 asc」  
 降順の基本構文 「order by 列 desc」

	A	B	C	D	E	F
1	学年	組	氏 名	部活動	住 所	電話番号
2	2	D	乗松瑠華	陸上競技	北広島市福住1丁目	033-000-0000

※ここで示す「列」とは、「検索する範囲の列」を示しています。そのため、演習シート基本情報③のA列に該当しますので、お間違えないように注意してください。

### 実際の構文

① 学年の並べ替え

```
=QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球' order by A asc",1)
```

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	1	C	中山 雄太	033-000-0039
5	1	C	富安 健洋	033-000-0047
6	2	A	久保 建英	033-000-0005
7	3	B	藤野あおば	033-000-0042
8	3	C	岩淵真奈	033-000-0002
9	3	C	植木理子	033-000-0016

② クラスの並べ替え

```
=QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球' order by B asc",1)
```

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	2	A	久保 建英	033-000-0005
5	3	B	藤野あおば	033-000-0042
6	3	C	岩渕真奈	033-000-0002
7	3	C	植木理子	033-000-0016
8	1	C	中山 雄太	033-000-0039
9	1	C	富安 健洋	033-000-0047

③ 学年とクラスの両方並べ替え

```
=QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球' order by A asc,B asc",1)
```

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	1	C	中山 雄太	033-000-0039
5	1	C	富安 健洋	033-000-0047
6	2	A	久保 建英	033-000-0005
7	3	B	藤野あおば	033-000-0042
8	3	C	岩渕真奈	033-000-0002
9	3	C	植木理子	033-000-0016

(3) こんな時どうする? ~複数条件でデータを抽出したい~

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	3	C	岩淵真奈	033-000-0002
5	2	A	久保 建英	033-000-0005
6	3	C	植木理子	033-000-0016
7	1	C	中山 雄太	033-000-0039
8	3	B	藤野あおば	033-000-0042
9	1	C	富安 健洋	033-000-0047

全児童生徒の中で、「野球部に所属している1年生だけを抽出したい」、「1年A組に所属する児童生徒の部活動を知りたいから抽出したい」等、複数の条件を満たしたデータを抽出したい場合があります。



- ・ where 句を工夫して、「and」で条件を複数つくりましょう  
1年A組の児童生徒のみを抽出したい場合  
(where 句のみ) 「where A=1 and B='A'」
- ・ where 句を工夫して、「or」で条件を複数つくりましょう  
(「or」を使用すると、いずれかの条件を満たすデータを抽出することができます。)  
1年生と2年生に在籍している児童生徒を抽出したい場合  
(where 句のみ) 「where A=1 or A=2」

### 実際の構文

① 「1年」「A組」に所属している児童生徒のみを抽出して、部活動を知りたい場合

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,D where A=1 and B='A'",1)
```

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	部活動
4	1	A	シュミット・ダニエル	バレーボール
5	1	A	川島 永嗣	サッカー
6	1	A	権田 修一	合唱
7	1	A	長友 佑都	バスケットボール

② 「1年生」で「サッカー部」に所属している児童生徒のみを抽出したい場合

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,D where A=1 and D='サッカー' order by B asc",1)
```

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	部活動
4	1	A	川島 永嗣	サッカー
5	1	C	板倉 滉	サッカー
6	1	D	三笥 薫	サッカー
7	1	D	南野 拓実	サッカー

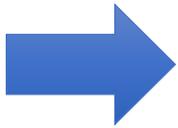
**演習⑤** 演習④で作成した演習シート(4)で、様々な条件でデータを並べ替えたり、抽出したりしましょう！

## 豆知識

・条件を固定値ではなく、変数に対応させるとシートは1枚つくるだけで十分です。

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select * where D='野球'",1)
```

「野球」という文字で抽出するのではなく、セルに対応したデータを抽出させたい！



シングルクォーテーション（'）とダブルクォーテーション（"）、アンパサンド（&）を駆使しましょう！

文字として認識する場合 '野球' = 「"&A1&"」

数字として認識する場合 1 = 「"&A1&"」

## 実際の構文

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select * where D='"&A1&"' order by A asc,B asc",1)
```

## 豆知識

(1) データの抽出エラーが起きないために、データの入力規則を用いると便利です。

The screenshots illustrate the process of setting up a data validation rule. The first screenshot shows the 'データの入力規則' (Data Validation) menu item highlighted in the sidebar. The second screenshot shows the 'データの入力規則' dialog box with the '+ ルールを追加' (Add rule) button highlighted. The third screenshot shows the '条件' (Criteria) section where 'プルダウン' (Dropdown) is selected. The fourth screenshot shows the 'プルダウン (範囲内)' (Dropdown (within range)) option selected in the dropdown menu. The fifth screenshot shows the 'データ範囲の選択' (Select data range) dialog box with the range '演習⑥!H2:H12' entered. The sixth screenshot shows the '完了' (Done) button highlighted in the '詳細オプション' (Advanced options) section. The final screenshot shows the completed spreadsheet with the '卓球' (Table Tennis) range highlighted and the dropdown list containing '部活動' (School Activities), '野球' (Baseball), 'サッカー' (Soccer), 'ソフトテニス' (Soft Tennis), '陸上競技' (Track and Field), 'バスケットボール' (Basketball), 'バレーボール' (Volleyball), 'バドミントン' (Badminton), '卓球' (Table Tennis), '写真' (Photography), '合唱' (Chorus), and '美術' (Art).

## 演習⑥

演習シート(5)に、データの入力規則を設定して、リストに対応するQUERY関数を設定しよう！

## 5 IMPORTRANGE 関数【別のスプレッドシートから情報を取得できる関数】

(1) 基本構文 =IMPORTRANGE(“スプレッドシートキー”, “シート名!範囲の文字列”)

スプレッドシートキーとは・・・

Google アプリの URL の中に存在し、d/~/の間をスプレッドシートキーと呼び、各ファイル固有のアドレスとなります。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/**IzP30bMI5aBamI5N-0JakzWXmAobKrtAhDZASkkIQ4m8**/edit?gid=1791865831#gid=1791865831

### 実際の構文

```
=importrange("1dyx1ts2Ukwqz_xPb4cbIIRcT6dowsyX_22S7z24v0CE", "基本情報!A1:AC368")
```

#REF!

これらのスプレッドシートをリンクする必要があります。読み込み先のスプレッドシートが新しい参照元のスプレッドシートから初めてデータを取得するときは、権限を付与する必要があります。

詳細

アクセスを許可

IMPORTRANGE 関数を初めて用いる場合、必ずアクセスの許可を求められます。許可して、権限があるとデータが共有されて反映されます。

IMPORTRANGE 関数のよさは、元データに修正を加えた場合、リンクされているため自動的に修正が反映されるようになっています。全てのファイルを変える手間がないため、効率的であり人的エラーを防ぐことにも有効的な関数です。(時間割関係で役立ちます)

日付	曜日	行事	給食	部活	3A															
04/01	月			なし																
04/02	火			なし																
04/03	水			なし																
04/04	木			なし																
04/05	金			なし																
04/08	月	振替休業日																		
04/09	火	対面式 自転車集会 部活動見学 (~25日)		行	学	学	英A	国	総	行	学	学								
04/10	水	修学旅行①		再	行	総	総	総	総	行	行	行								
04/11	木	修学旅行②		再	総	総	総	総	総	総	総	総								
04/12	金	修学旅行③		再	総	総	総	総	総	行	総	総								
04/15	月	標準学力検査			総	国	数	社	理	英	総	国	数							
04/16	火				理	英B	国	英A	体	数	国	英A	理							
04/17	水	全国学力学習状況調査① 会議日	なし	英A	総	技	総	学	技	体	総	体	総							
04/18	木	全国学力学習状況調査② 定例委員会 ネットモ		国	数	理	体	社	道	国	数	音	体							
04/19	金	会議日		なし	美	音	社	理	体	国	美	体								
04/22	月	振替休業日																		
04/23	火	身体測定・視力・聴力検査 会議	なし	理	数	社	行	英A		音	国	英A								
04/24	水			学	音	英B	社	国	数	音	数	社								
04/25	木	会議日		なし	理	社	体	美	社	社	数	体								
04/26	金				体	英A	理	社	技	理	体	社								
04/29	月	昭和の日																		
04/30	火	福祉体験&手話講座			国	英B	総	総	総	総	数	社								
05/01	水	開校記念日																		

## 2) Google サイトの活用について



### 特徴

- ・Google が提供するシンプルな Web サイト作成ツール
- ・HTML やプログラミング、デザイン等の専門知識がない人でも簡単にホームページを作成することができる
- ・共有設定により共同編集が可能
- ・作成したサイトはタブレット、スマートフォンからも閲覧可能で、あらゆる画面に合わせて表示される

※北広島市のアカウントで作成された Google サイトは、北広島市のアカウントを所有している人しか閲覧することができません。検索しても表示されることはありません。各市町村で制限がありますので、ご確認ください。

国語科からのお知らせ  
授業予定&締め切りについて  
研鑽タイム  
学びの足跡&振り返りform  
クラスルーム

授業資料（各ページ）にアクセスしやすいことがポイント！蓄積すれば前学年の既習事項を活用した学習にも発展しやすくなります。

単元計画スライド

「盆土産」  
一人間のきずな〜

単元課題  
「盆土産解説書」を作成しよう

R6 3年国語サイト

振り返りform

学びの足跡

1,2時間目 「盆土産の第一印象をもち、第三の場面を視覚的にまとめる」

AIII Padlet BIII Padlet CIII Padlet DIII Padlet

3,4時間目 「ラストシーンにおける主人公と父親の言動の意味を考える」

2A 2B 2C 2D

5時間目 単元まとめ 「『盆土産説明書』を作成しよう」

Google アプリのファイルも直接表示させることができるため、児童生徒に見通しをもたせやすくなります。また、授業で使用するファイルのリンクを貼り付けることで容易にアクセスしやすいため、欠席した場合やオンラインで授業を受ける場合等、幅広いニーズに対応しやすい形式といえます。

### 活用例

授業で使用するファイルのリンクをサイトに貼り付ける形で、子どもと共有できます。また、授業だけではなく、クラスや学年、行事、部活動と幅広く活用し、場面に応じて保護者とも情報を共有できます。

## 豆知識

(1) サイトに文字やファイル等を挿入するときは・・・



右に表示される「挿入メニュー」から文字、画像、インターネットの情報、Google ドライブにあるデータをサイト内に入れることができます。また、PC に保存されているデータをアップロードすることもできます。



デザインに困った場合は、コンテンツブロックを使うことでレイアウトを整えることができます。

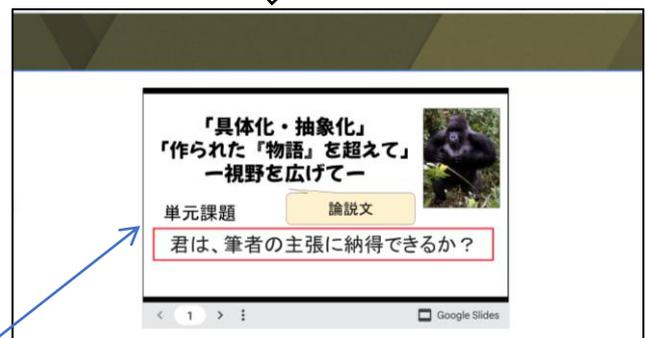
(2) 該当ファイルに手軽にアクセスできるようにするためには・・・

① スライドを直接サイトに埋め込む方法

右に表示される挿入メニューからスライドを選択します。

スライドを選び、挿入ボタンをクリックします。

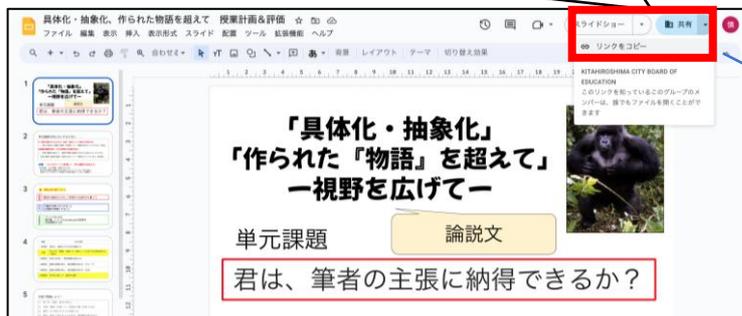
サイトを公開すると、サイト上でページを移動したり全画面表示にしたり等、閲覧可能になります。



## ②ボタン機能にリンクを貼り付ける方法

各種ファイルの共有右下の↓をクリックすると、「リンクをコピー」が表示されるのでクリックします。

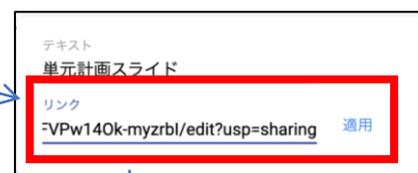
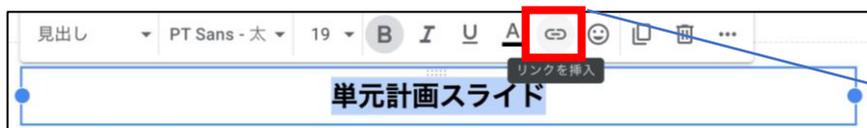
右に表示される挿入メニューからボタンを選択します。



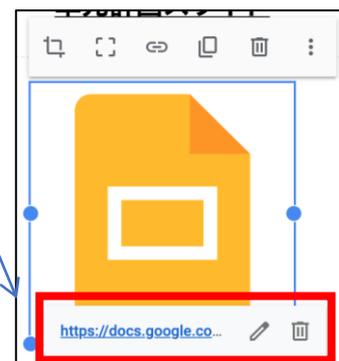
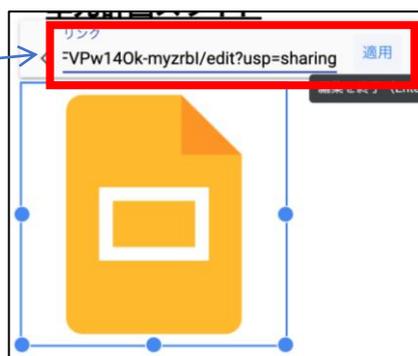
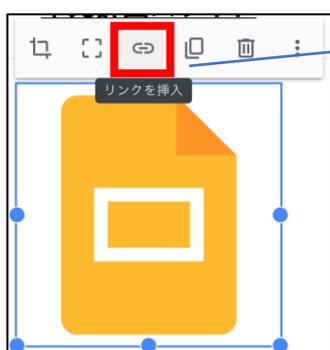
コピーしたリンクを貼り付けます。名前はボタンとして表示された際のタイトルにあたります。

サイトを公開すると、ボタンを押すことで該当のファイルに移動することができます。

## ③テキストや画像にリンクを貼り付ける方法



テキストや画像を選択すると「リンクを挿入」ボタンが表示されます。それをクリックして、URLを貼り付けるだけになります。サイトを公開するとテキストや画像をクリックすることで、該当のファイルに移動することができます。



### (3) サイト内にページを増やしたいときには・・・

挿入 ページ テーマ

ページをフィルタ

ホーム

第3章 言葉とともに

第2章 視野を広げて

第1章 深まる学びへ

漢字ミニテスト

2学年

新規メニュー

全体の理め込み

新しいリンク

新しいページ

画面の右に表示される「ページメニュー」の一番下にある+マークより、「新しいページ」を選択することで追加できます。

作成したページをページの中に入れて込むことで、自動的に階層化されます。

実際に階層化されると・・・

挿入 ページ テーマ

ページをフィルタ

ホーム

第3章 言葉とともに

第2章 視野を広げて

具体化・抽象化 作ら...

文法への扉

情報社会を生きる

説得力のある構成を考...

第1章 深まる学びへ

漢字ミニテスト

2学年

+

第3章 言葉とともに

第2章 視野を広げて

具体化・抽象化 作ら...

文法への扉

情報社会を生きる

説得力のある構成を考...

3年国語科ポータルサイト

### (4) 作成したサイトを確認したいときには・・・

🔄 ↻ 🖥️ 🔗 👤 ⚙️ ⋮ 公開 ▼

🔍

R6 3年国語サイト

3年国語科ポータルサイト

国語科からのお知らせ

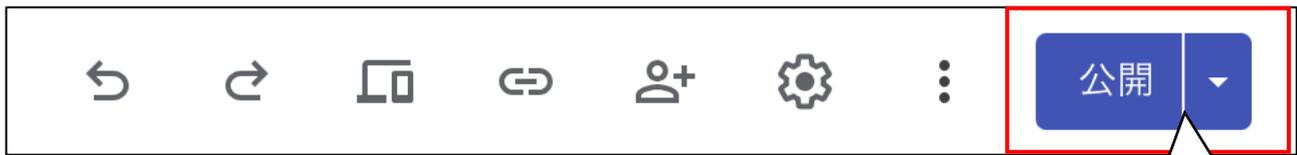
①夏休み宿題「生活体験文」の作成について

・内容は、他の人にはない自分だけの体験をもとに、大切に感じたことや自分の変化について書くこと。

📱 🖥️ 📺 📄 ⚠️ ✕

上記のメニューバーより赤枠のボタンを押すと、公開された時の表示形式を確認することができます。右下のボタンより、スマートフォン、タブレット、パソコンと選択することができます。画像は、スマートフォンによって表示されているものです。

(5) 作成したサイトを公開するときには・・・



**公開設定**

ウェブアドレス

r5kokugo

https://sites.google.com/kitahiroshima.ed.jp/r5kokugo

公開前に変更を確認

公開する前に編集者が変更内容を確認する必要があります

キャンセル 保存

公開ボタンより公開設定を選びます。任意の URL を設定する必要がありますので、条件に従って作成します。重複した URL がないことを確認後に公開され、URL を知っている人のみ閲覧することができます。

### 豆知識

(1) 一般アカウントの場合、検索エンジンにて検索されるようにするかチェックボックスで確認されます。また、公開範囲を設定することができますので、使用目的に応じて使い分けることで Google サイトのメリットを最大限に発揮することができます。

**演習⑦** 本日の演習で作成したスプレッドシートを様々な表示形式でサイトに掲載して、公開しよう！

### 3)おわりに

本日の研修会はいかがだったでしょうか？ 限られた時間ではありましたが、実際に手を動かしてみ  
中で、新たな機能に気付いたり、より簡単にできる方法を見つけたりする場面もあったのではないかと思  
います。演習や交流を通じて、今後の ICT 活用に向けた足がかりとしていただければ幸いです。

私自身、これまでよく使ってきた関数は、「SUM」「AVERAGE」「COUNTIF」等の基本的なものが中  
心でしたが、昨年度の ICT 実技研修で「XLOOKUP 関数」や「QUERY 関数」に出会い、その便利さに  
驚かされました。必要なデータを簡単に抽出・整理できるこれらの機能は、「個別最適な学び」や「協働  
的な学び」の一体的な充実にも大いに役立つと感じています。

GIGA スクール構想によって端末の整備が進み、子どもの学びをより深める段階へと移行する中、私  
たち教職員にも情報活用スキルの向上が求められています。本日研修した内容もすぐに身に付くもので  
はありませんが、授業の中で ICT をどのように活用するかを考え、少しずつ実践していくことが大切だと  
感じます。子どもが生き生きと学ぶ姿が思い描きながら、活用する場面を考えてみてください。

また、ICT の活用は、業務の効率化という面でも大きな効果を発揮します。各学校では、ICT に詳しい  
教職員が作成したデータが共有され、業務の負担軽減に役立っている事例もよく見られます。ICT を学  
ぶことは多くの時間を要しますが、時間をかけて身に付け、それを学校現場に還元することで、多くの教  
職員の働き方改革の実現に結び付くと感じています。

今回の研修が、皆さんの日々の業務を少しでも楽にし、心身ともに充実した働き方につながることを願  
っています。有効的な活用アイデアがあれば、ぜひ教えてください。

石狩市立花川中学校  
山下 宗親